安全データシート

作成日　2006年12月25日
最新改定　2026年7月17日

1. 化学品及び会社情報

製品名:	ビードクリーム 二輪車 乗用車用 速乾タイプ
会社名:	株式会社MonotaRO
所在地:	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 :	商品お問合せ窓口
電話番号 :	0120-443-509
FAX番号:	0120-289-888
緊急連絡先:	所在地と同じ
推奨用途及び使用上の制限:	タイヤ脱着時のビード部保護潤滑剤
整理番号:	M261007

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない。
健康に対する有害性:	眼刺激性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（腎臓、肝臓）
環境に対する有害性:	水生環境有害性　短期（急性）	区分3
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない。

※記載のないものは区分に該当しない　または分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:




注意喚起語: 危険

危険有害性情報:
- H319 強い眼刺激
- H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- H372 長期又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害
- H402 水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】
- P305＋P351＋P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337＋P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
- P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P314 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】
- P405 容器を密閉して、冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】
- P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託

すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物
化学名又は一般名: タイヤ脱着時のビード部保護潤滑剤
成分、含有量、化学構造式、官報公示整理番号及びCAS No. :

	成分名	含有量	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS No.	備考
1	ジエチレングリコール	30～65	2-415	111-46-6	
2	水	10～65	該当しない	7732－18－5	
3	ステアリン酸ナトリウム	1～10	2-611, 7-973	822-16-2	
4	トリエタノールアミン	0.1～0.9	(2)－308	102-71-6	

危険有害成分

労働安全衛生法（通知物質） ジエチレングリコール、トリエタノールアミン

労働安全衛生法（表示物質） ジエチレングリコール

PRTR法 第1種指定化学物質 該当無し

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分の悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。
目に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。 気分の悪い場合は、すぐに医師の手当て、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状: 経口摂取:腹痛、吐き気、嘔吐、下痢、めまい、し眠、錯乱、意識喪失。
皮膚に付着:かぶれ、ただれ、発赤。
応急措置をする者の保護: データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 水噴霧、粉末消火剤
使ってはならない消火剤: データなし
火災時の特有の危険有害性: 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば、着火源を除去すること。
消火活動を行う者の
特別な保護具及び予防措置: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項: 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和: 少量の場合:漏えい物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるくフタをして漏えい場所から移す。

大量の場合：防護囲いをし、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：　危険でなければ漏れを止める。

7．取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：　『8．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：　『8．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取り扱い注意事項：　接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼・皮膚に付けないこと。
取り扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避：　『10．安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策：　情報無し
保管条件：　容器を密閉して、換気の良い冷暗所で保管すること。
混触危険物質：　『10．安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料：　包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8．ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度（職業的ばく露限界値、生物学的限界値）

	成分名	重量%	管理濃度（厚生労働省）	許容濃度（日本産衛学会）	ACGIH	
					TLV－TWA	TLV－STEL
1	ジエチレングリコール	30～65	未設定	未設定	未設定	未設定
2	水	10～65	未設定	未設定	未設定	未設定
3	ステアリン酸ナトリウム	1～10	未設定	未設定	未設定	未設定
4	トリエタノールアミン	0.1～0.9	未設定	未設定	5mg/m3	未設定

設備対策：　この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、排気用の換気を行うこと。

保護具

呼吸器保護具：　適切な呼吸器保護具（防毒マスク等）を着用すること。
手の保護具：　保護手袋を着用すること。
眼・顔面の保護具：　保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型等）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：　適切な保護衣を着用すること。
衛生対策：　取り扱い後はよく手を洗うこと。

9．物理的及び化学的性質

物理状態：　固体
色　白色
臭い：　無臭
融点・凝固点：　（製品データー）；50℃（融点）
沸点、初留点及び沸騰範囲：　データなし
可燃性　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　データなし
引火点　172℃
自然発火点　データなし
分解温度：　データなし
pH　9～10
動粘性率　データなし
溶解度：　水に溶解
n-オクタノール／水分配係数：　データなし
蒸気圧：　データなし
密度及び／又は相対密度：　（製品データー）；1.03（計算値）
相対ガス密度：　データなし

粒子特性: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性: データなし
化学的安定性: 通常の状態では安定
危険有害反応可能性: データなし
避けるべき条件: 水分が揮発すると可燃性を生じる。
混触危険物質: データなし
危険有害な分解生成物: データなし

11. 有害性情報

急性毒性:

（別表） 急性毒性（経口、経皮及び吸入）

	成分名	重量%	急性毒性（経口）	急性毒性（経皮）	急性毒性（吸入:ガス）	急性毒性（吸入:蒸気）
1	ジエチレングリコール	30～65	12565mg/kg	13300mg/kg	区分に該当しない	分類できない
2	水	10～65	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない
3	ステアリン酸ナトリウム	1～10	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
4	トリエタノールアミン	0.1～0.9	4200mg/kg	>2000mg/kg	区分に該当しない	分類できない

経口 （製品データー）は、（分類できない）に分類される。
経皮 （製品データー）は、（分類できない）に分類される。
吸入（ガス） （製品データー）は、（分類できない）に分類される。
吸入（蒸気） （製品データー）は、（分類できない）に分類される。

皮膚腐食性／刺激性: （成分データー1、2、3）は、皮膚刺激（区分に該当しない）に分類されている。
（成分データー4）は、皮膚刺激（区分2）に分類されているが3%未満である。
（製品データー）は、皮膚刺激（区分に該当しない）に分類される。

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: （成分データー1、2）は、眼刺激（区分に該当しない）に分類されている。
（成分データー3）は、目刺激性（区分2A）に分類されている。
（成分データー4）は、目刺激性（区分1）に分類されているが、3%未満である。
（製品データー）は、眼刺激（区分2）に分類される。

呼吸器感作性: （成分データー1、2、3、4）は、呼吸器感作性（分類できない）に分類されている。
（製品データー）は、呼吸器感作性（分類できない）に分類される。

皮膚感作性: （成分データー1、2）は、（区分に該当しない）または（分類できない）に分類されている。
（成分データー4）は、皮膚感作性（区分1）に分類されているが、液体で1%未満である。
（製品データー）は、皮膚感作性（区分に該当しない）に分類される。

生殖細胞変異原性: （成分データー1、2、3、4）は、（分類できない）に分類されている。
（製品データー）は、（分類できない）に分類される。

発がん性: （成分データー1、2、3）は、（分類できない）に分類されている。
（成分データー4）は、発がん性（区分2）に分類されているが、1%未満である。
（製品データー）は、（分類できない）に分類される。

生殖毒性: （成分データー2、3）は、生殖毒性（分類できない）に分類される。
（成分データー1、4）は、生殖毒性（区分2）に分類されており3%以上である。
（製品データー）は、生殖毒性（区分2）に分類される。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）: （成分データー1、2、3）は、（分類できない）に分類されている。
（成分データー4）は、肝臓（区分2）、気道刺激性（区分3）に分類されるが1%未満である。
（製品データー）は、（分類できない）に分類されている。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）: （成分データー2、3）は、（分類できない）に分類されている。
（成分データー1）は、腎臓・肝臓（区分1）に分類され25%以上である。
（成分データー4）は、気道（区分2）に分類されるが1%未満である。
（製品データー）は、腎臓・肝臓（区分1）に分類されている。

誤えん有害性: （製品データー）は、（分類できない）に分類される。

12. 環境影響情報

生体毒性

水生環境有害性　短期　(急性):	(成分データー1、2)は、(区分に該当しない)に分類されている。 (成分データー3)は、(区分2)に分類されているが、成分合計が25%未満2.5%以上。 (成分データー4)は、(区分3)に分類されている。 (製品データー)は、(区分3)に分類される。
水生環境有害性　長期　(慢性):	(成分データー1、2、4)は、(区分に該当しない)に分類されている。 (成分データー3)は、(区分3)に分類されているが、25%未満である。 (製品データー)は、(区分に該当しない)に分類される。
残留性・分解性:	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性:	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性:	現在のところ有用な情報なし。
オゾン層有害性:	分類できない
他の有害情報	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号:　無し　　クラス:　非危険物　　容器等級:　非該当

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。　　重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物(ジエチレングリコール、トリエタノールアミン) 名称等を表示すべき有害物(ジエチレングリコール)
化審法	優先評価化学物質(トリエタノールアミン、ステアリン酸ナトリウム)
消防法	該当せず
PRTR法	該当せず
毒劇物取締法	該当せず
水質汚濁防止法	該当せず
大気汚染防止法	該当せず
海洋汚染防止法	Z類物質(ジエチレングリコール、トリエタノールアミン)

悪臭防止法	該当せず
土壌汚染対策法	該当せず
船舶安全法	該当せず
航空法	該当せず

16. その他の情報

参照文献および情報源

1）安全データシート「ジエチレングリコール」（メーカー、職場の安全サイト）
2）安全データシート「ステアリン酸ナトリウム」（メーカー）
3）安全データシート「トリエタノールアミン」（メーカー）
4）「化学物質等の表示・文書交付制度のあらまし」（厚生労働省・都道府県労務局・労働基準監督署）
5）「危険物船舶運送及び貯蔵規制（12訂版）」（国土交通省海事局検査測度課　監修）
6）日本規格協会(JIS) JIS Z 7252:2019 (GHSに基づく化学品の分類方法)
7）日本規格協会(JIS) JIS Z 7253:2019 (GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法)

本データシートは、化学製品の工業的な一般的な取り扱いに際しての安全な取り扱いについて最新の情報を集めたものであるが万全ではない。 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがある。
化学製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは安全性の評価を実施すること。
本データシートは保証値ではない。